

リオン株式会社

2017年3月期第3四半期 決算ダイジェスト

東証一部 証券コード：6823

【免責事項】本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

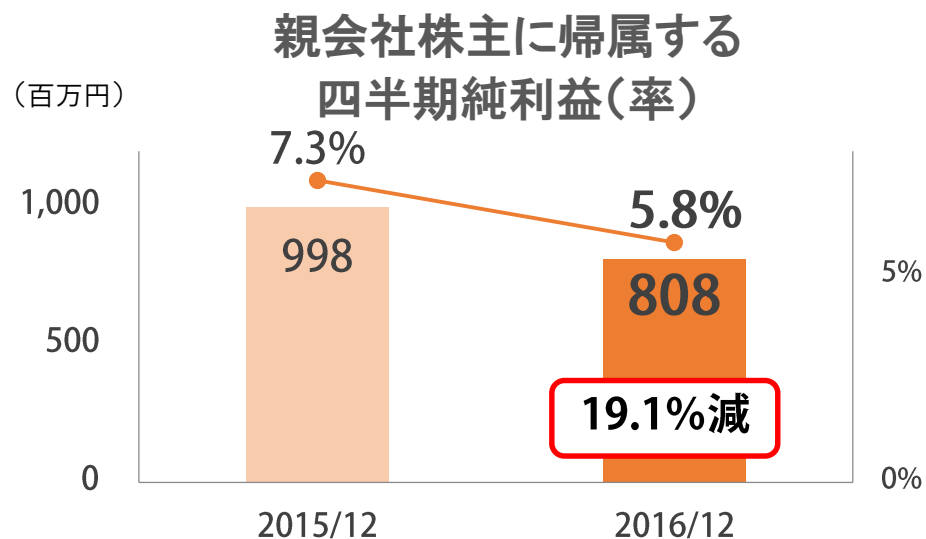
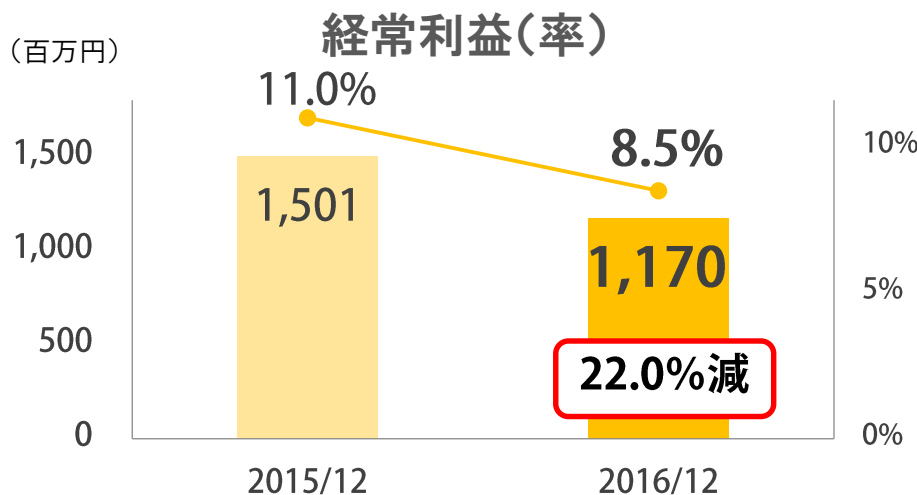
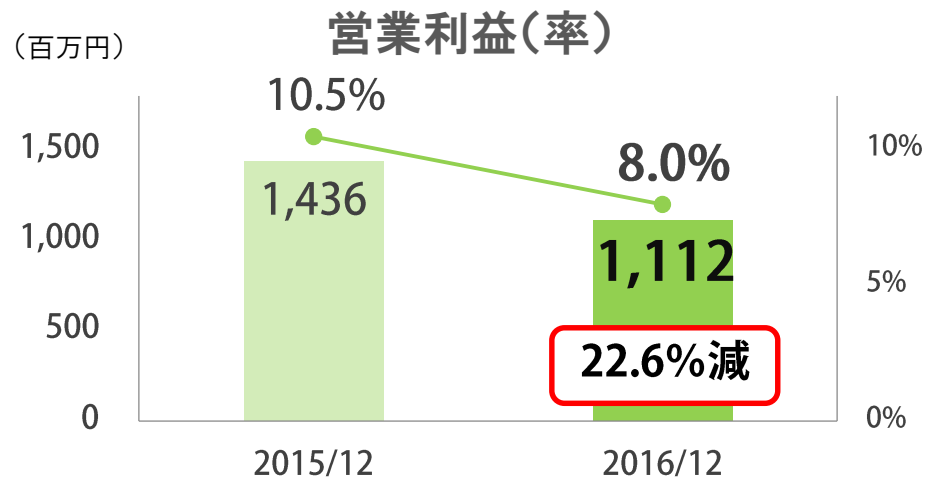
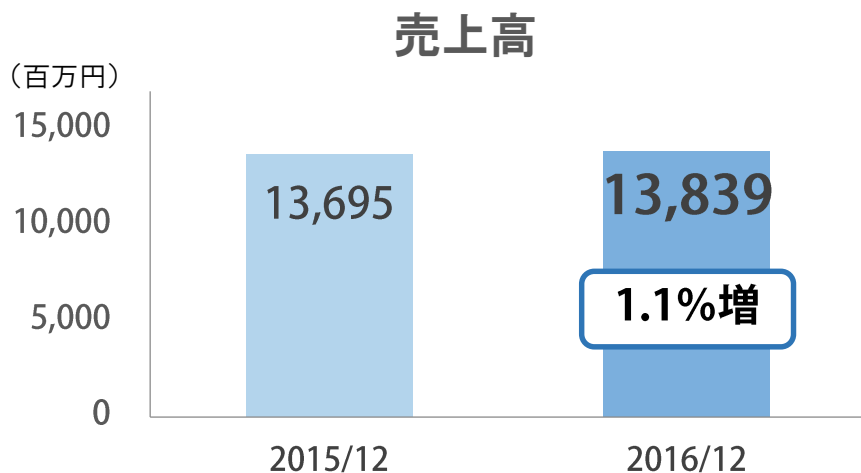
第3四半期においても前年同期比で増収を達成

- 補聴器と医用検査機器の売上が増加。
- 微粒子計測器の販売が好調をキープ。

期初予想に変更なし

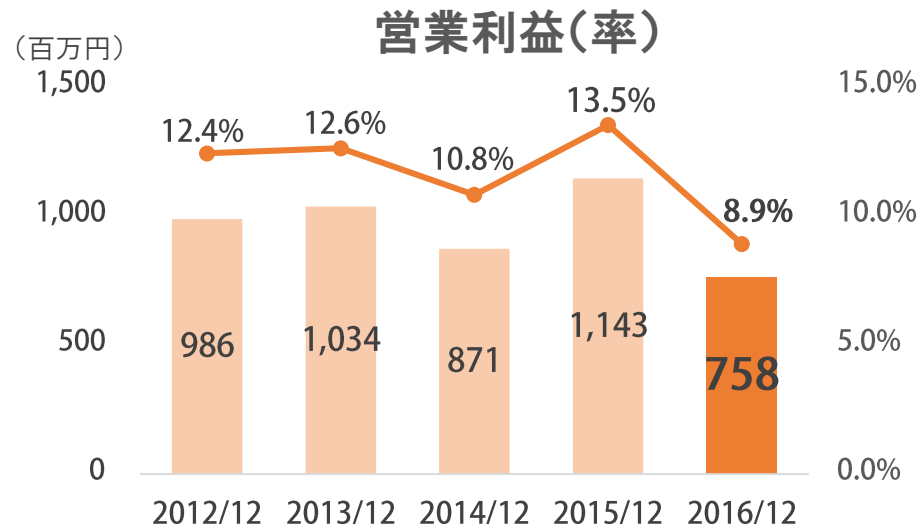
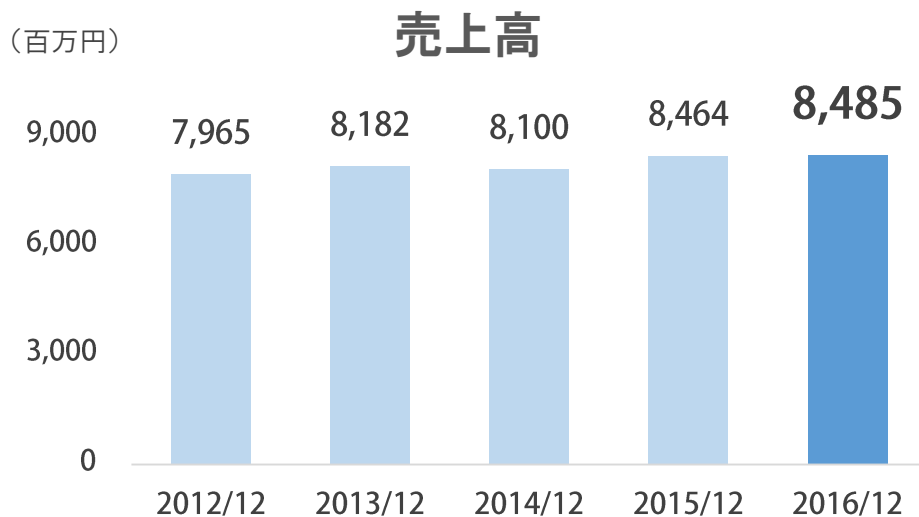
- 補聴器、医用検査機器、音響・振動計測器の販売が年度末に向けて増加する見込み。

決算ハイライト (連結)



第3四半期業績の推移（医療機器事業）

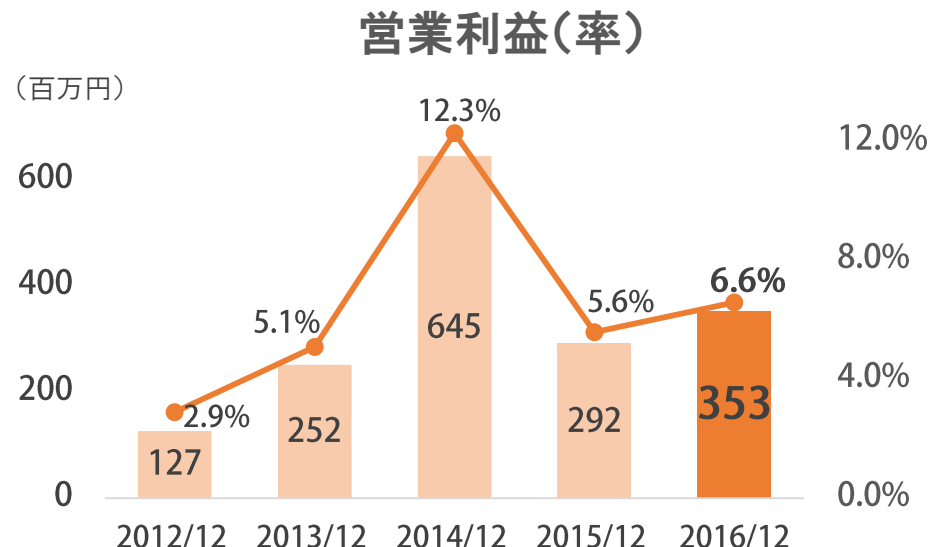
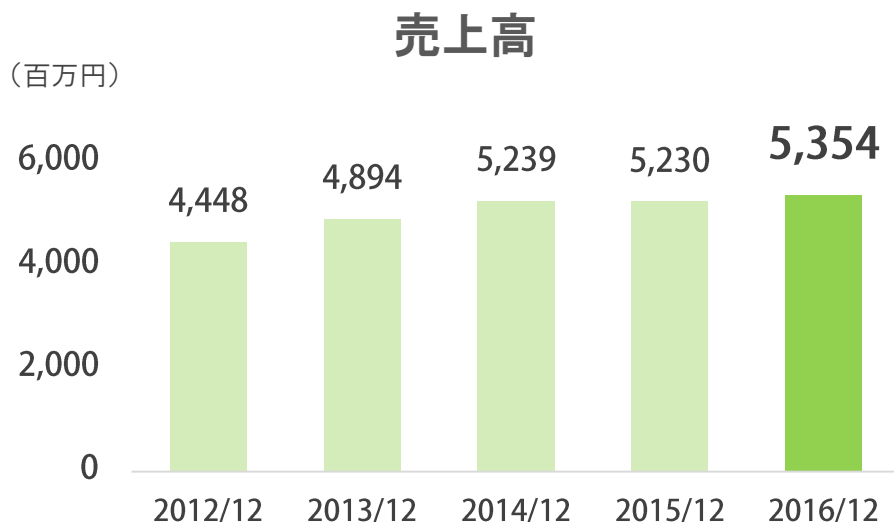
前年同期比で増収も、販売費の増加により減益に



- ・補聴器は第1四半期に売上が伸び悩んだものの、7月の新製品の投入により回復基調。補聴器の販促活動を積極的に展開したことで販売費が増加し、減益要因に。
- ・医用検査機器は診断用オージオメータやインピーダンスオージオメータなどの高額製品の大口受注を獲得し増収に。

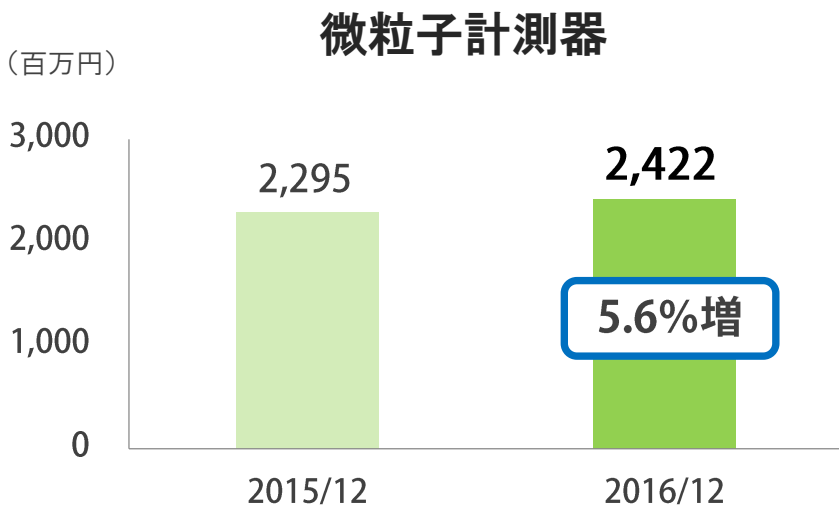
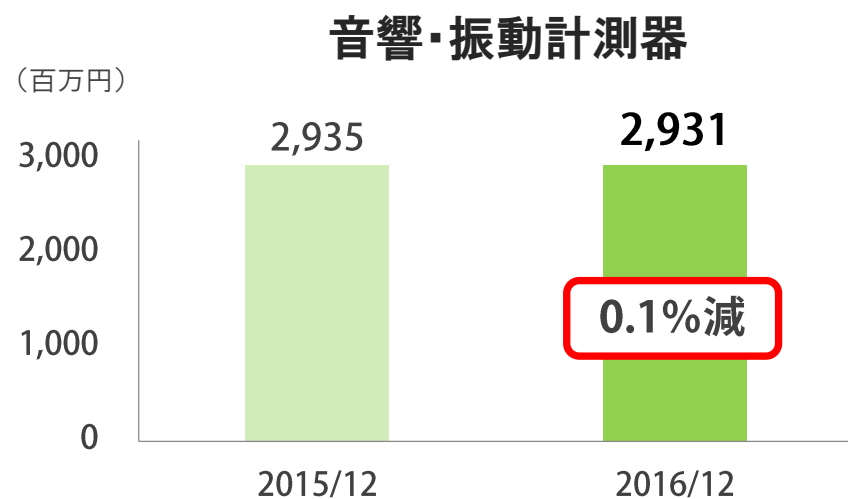
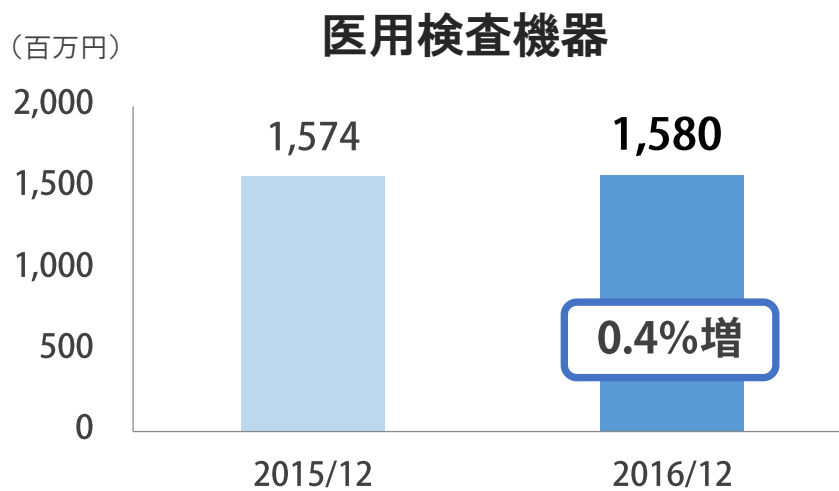
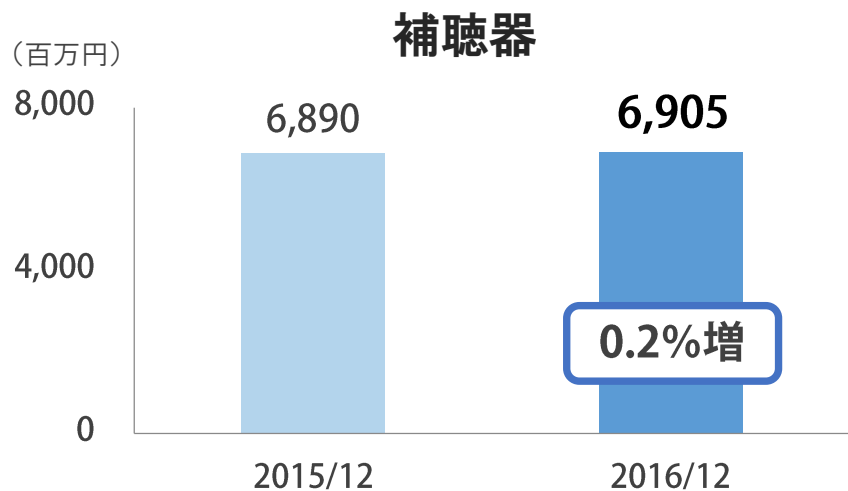
第3四半期業績の推移（環境機器事業）

微粒子計測器の好調により増収増益



- 音響・振動計測器は、建設工事の増加に伴い騒音計や振動計が堅調に推移したほか、地震計の大型受注により売上は前年同期並み。
- 電子デバイス関連市場向け液中微粒子計の販売が好調を継続し、大幅な増収となる。

各製品群の売上高の推移



11月4日 第1回「はじめての補聴器講座」を開催

11月18日 [2017年3月期第2四半期決算説明会を開催](#)

11月29日 [2016年「心に残った音」調査を実施](#)

12月9日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.3発刊](#)

12月15日 [人事異動に関するお知らせ](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。